

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター 令和3年度（2021年度）第1号

学校改革！教職員の時間創造プログラム 第1期から第2期へ

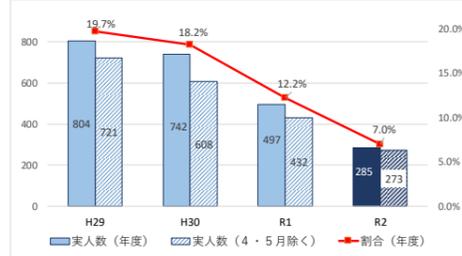
第1期プログラムの実績

「(第1期)学校改革!教員の時間創造プログラム(H30~R2)」の取組では、校務支援システムの導入、給食費の公会計化、学校徴収金のシステム管理導入等の取組により、目標達成までには至りませんでした。一定の効果は見られました。

令和3年3月に策定した第2期学校改革!教職員の時間創造プログラム(R3~R5)では、先生方の実質的な負担や負担感の削減だけでなく、休暇取得の推進なども進めながら、先生方が「働き方改革が進んで良かった。」という思いを実感できるよう取組を進めていきます。

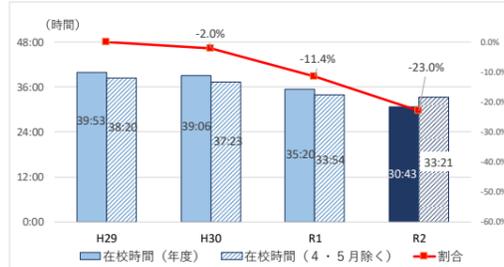
目標1

正規の勤務時間外の在校時間が1か月80時間を超える教職員数 0人



目標2

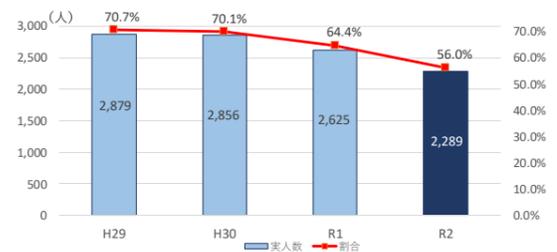
教職員の正規の勤務時間外の在校時間対H29年度実績比で 25%減



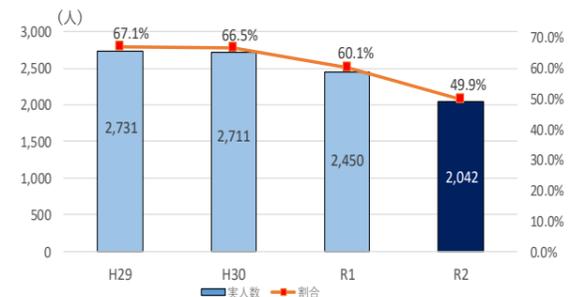
目標3

教職員の正規の勤務時間外の在校等時間1か月45時間以内、1年間360時間以内

1か月の正規の勤務時間外の在校時間が45時間を超える教職員の状況



1年間の正規の勤務時間外の在校時間が360時間を超える者の状況



第2期プログラムの目標と取組

目標1

【目標年次：R5（2023）年度末】

正規の勤務時間外の在校時間が1か月45時間を超える教職員数 **0人**

目標2

【目標年次：R5（2023）年度末】

正規の勤務時間外の在校時間が1年間360時間を超える教職員数 **0人**

当面の目標

【目標年次：R3（2021）年度】

正規の勤務時間外の在校時間が1か月80時間を超える教職員数 **0人**

目標3

【目標年次：R5（2023）年度末】

教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数 **16日**

取組項目1

持続可能な学校運営に向けた教育活動への転換

- 部活動の見直し 小学校
- 部活動の見直し 中学校
- 教育課程の見直し 年間授業時数や授業時間の見直し
- 教育課程の見直し 日課の見直し
- 教育課程の見直し 学校行事等の見直し
- 休暇取得の推進

取組項目2

新しい時代の働き方を創造するICTの活用

- 一人一台タブレットの活用 教材の共有化
- 一人一台タブレットの活用 家庭学習における活用
- 一人一台タブレットの活用 家庭訪問や教育相談での活用
- 一人一台タブレットの活用 保護者への通知・通信等の配付
- 会議や研修の見直し 学校外での会議や研修
- 会議や研修の見直し 校内での会議や研修
- 多様な場所で働ける環境の研究

取組項目3

外部人材や民間活力等の活用による学校支援

- 再任用短時間教員の活用
- S S Wの拡充
- 地域人材の活用に向けた取組
- 外国語専科教員の配置 (小学校)
- 事務機能の強化
- 教科書給与事務の外部委託
- 高校入試手続

取組項目4

働きやすい職場環境づくりに向けた各学校での意識改革や創意工夫

- 教頭業務の整理と改善の工夫
- 通知表の簡略化
- 小学校高学年における一部教科担任制の推進
- 管理職マネジメント研修の充実と意識改革
- 教職員のタイムカード出退勤打刻の徹底
- 最終退校時刻及び定時退勤日の遵守
- 勤務時間の繰り上げ繰り下げ制度の積極的活用

New

休暇取得の推進

心身の健康のため、自己研鑽やリフレッシュのために休暇は必要不可欠です。とは言えなかなか年休が取れない現状にあることも確かです。そこで、年休の付与期間を9月～8月にし、8月に行事精選と年休取得を推進している他都市の事例も参考にしながら、休暇を取得しやすい仕組みづくりを進めていきます。

教頭業務の整理と改善の工夫

教職員全体の勤務時間外の在校時間は減少傾向にありますが、職種別に見ると、依然として教頭先生が突出して多くなっています。教職員全体の業務を明確化の中で、全体の業務削減や他の職員への分担の可能性を探りながら、教頭先生の実質的な負担や負担感を減らす工夫をしていきます。



第1回 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト会議が開催されました

プロジェクト会議は、教育委員会事務局と園・学校現場の代表が、働き方改革のプログラムにおける取組内容の進捗や実績などについて検証を行うほか、新たな課題について協議を行う場です。

本年度第1回の会議は、令和3年5月31日(月)に行われました。コロナによる感染防止の観点からオンラインによる会議となりました。

本年度より幼稚園、高等学校、ビジネス専門学校、特別支援学校の代表者もメンバーに加わり、より幅広い視点からご意見をいただき、教職員の働き方改革を進めていくことになりました。

会議では、まず「(第1期)学校改革!教員の時間創造プログラム」についての令和2年度の実績について、事務局から報告を行いました。

その後、「プログラムの各取組」や「部活動・休暇取得の推進」などについて全体協議を行い、グループ協議では、各グループに教育委員会と園・学校メンバーが入る形で「第2期プログラムの目標達成に向けての工夫やアイデア」について協議を行いました。

グループ協議では、

- ・仕組みを変えることで意識を変えることと、意識を変えることで仕組みを変えていくことの両方が大切。
- ・それぞれの学校で意識改革や具体的取組は進んできている。学校同士の情報共有を進めることで、もっと働き方改革が進むと思う。
- ・「小学校の部活動では、活動日を減らして集中して行うことで、先生方が年休を取りやすくなった。」「繰り上げ繰り下げ制度を活用することでリフレッシュすることができた。」という学校もある。
- ・限られたマンパワーをどう活かすかということで、メンバーの学校では、事務職員が週に一度学年主任会に参加して、情報共有していたり、6年生の学年主任を少人数担当の先生がすることで、高学年担任の負担を減らしたりしている。

といった意見が出されました。

グループ協議の中でも、各学校での工夫を出してもらいましたが、今後も、在校時間が減っている学校やプログラムの取組が進んでいる学校などに、どんな取組をしているか、工夫などを伺いながら、ニュースレターを通して好事例等の情報共有を行っていきたいと思います。

令和3年度 学校改革!教職員の時間創造プロジェクトメンバー

所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
教育次長 プロジェクトリーダー	松島 孝司	春竹小学校	校長 山本 ちはる
教育次長	森江 一史	出水中学校	校長 田中 豊造
教育総務部長	中村 順浩	長嶺小学校	教頭 中島 尚子
教育政策課	課長 中元 正人	東部中学校	教頭 小崎 洋之
学校改革推進課	課長 松永 直樹	西原小学校	主幹教諭 荻迫 和也
学校改革推進課	教育審議員 樺木 敏之	二岡中学校	教諭 西野 聡一郎
青少年教育課	課長 田口 清行	帯山西小学校	養護教諭 工藤 あけみ
指導課	課長 石加 浩二	日吉小学校	事務主任 山下 貴子
教職員課	課長 濱洲 義昭	千原台高校	校長 南 弘一
総合支援課	課長 川上 敬士	川尻幼稚園	園長 栗崎 恵子
健康教育課	課長 上村 清敬	平成さくら支援学校	校長 竹内 賢二
人権教育指導室	室長 平生 典子	総合ビジネス専門学校	校長 古家 幸生
教育センター	所長 廣瀬 泰幸	慶徳小学校	講師 杉本 弘美
		錦ヶ丘中学校	事務主幹 土井 一宏



先生方が早くカエル・帰ることができますよう、雨上がりの空のようにすっきりした気持ちで子どもたちと向き合えますよう、本年度も働き方改革を進めてまいります。そして、このニュースレターでは、働き方改革の取組状況や、おすすめの事例などを発信していきます。気軽に読めて、尚且つ役に立つ、そんな広報紙になるよう努めてまいります。

発行:熊本市教育委員会事務局
教育総務部 学校改革推進課
TEL:(096)328-2708